

# 平成29年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 医療福祉総務室

## 1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市総合福祉センターふれあい
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79 番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成 29 年度会議室等利用実績／件数・人数等 2,177 件 (内有料 1,648 件) 50,693 人 (8,576 時間)
(4) 市支出額	指定管理料 41,262,000 円
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 管理施設の使用許可及び利用料金徴収に関する業務</li> <li>② 管理施設及び設備の点検及び維持管理に関する業務</li> <li>③ 管理施設の電気料等公益費の徴収及び支払いに関する業務</li> <li>④ 管理施設の安全対策に関する業務</li> <li>⑤ 災害時の避難場所提供及び災害対策への協力</li> <li>⑥ その他必要な業務</li> </ul>

## 2. 事業計画の達成状況

計画区分	達成状況
平等利用の確保及びサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓口での明るく丁寧な対応に努めるとともに、担当課の誰もが同じ対応ができるよう、施設利用に関する資料の作成や情報の共有を図った。</li> <li>・ 三重県の「三重おもいやり駐車場利用制度」に賛同し、障害者や妊産婦等が利用する「おもいやり駐車場」の登録を行っている（4 台分）。</li> <li>・ 要望に対応し、視覚障害者用卓球台を設置している。</li> </ul>
施設の効用の最大限の発揮（利用促進、利用者増など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社協のホームページ及び年 6 回発行している広報紙「ほほえみ」に、貸館利用に関する案内記事を掲載することで、新規利用を含めた貸館利用促進に努めた。</li> <li>・ 利用者の希望日時等が希望に添えなかった場合に、他のプランを提案する等の窓口案内を徹底し、利用者の確保に努めた。</li> <li>・ 施設利用希望者の計画や希望を丁寧に聞き取り、利用者満足度の向上を図ることで、次の利用につながるよう心がけた。</li> </ul>
施設の適切な維持管理及び経費縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化している施設である為、修繕費は増加しているが、経年劣化による機器の故障や施設の汚損箇所の増加を適宜把握し、危険度や重要度を考慮したうえで、優先順位の高いものから順次適宜に補修等の対応をした。</li> <li>・ 危険度や重要度を考慮し、市に優先順位を明確にした上で、修繕にかかる「名張市総合福祉センターふれあい施設等要修繕箇所に係る報告」にまとめ要望を行った。</li> <li>・ 老朽化していた空調設備を改修したことにより、適切な施設環境を図ることができた。</li> <li>・ 水道光熱費については、館内事業所に対して適正温度やクールビズ、ウォームビズに関する通知を出し、協力を得て夏季使用電力の制御（デマンド監視）を実施し、また冬季はガス使用量の縮減に努めた。</li> </ul>

<p>管理を的確に行う人的構成（組織体制等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に甲種防火管理講習、電気保安管理講習等、施設管理に有用な研修を受講し、習熟した職員の育成に努めた。</li> <li>・ 新しい法令や指導等に対して速やかに対応できる専門知識、資格、実績をもつ専門業者を選定し連携を図り的確な管理運営に努めた。</li> <li>・ 時間外、休日における適切な施設管理を行うため、管理人を配置し管理運営に努めた。</li> </ul>
----------------------------	---

### 3. 施設設置者（名張市）評価

<p>指定管理協定に基づく業務は適切に実施されています。          利用者への配慮、及び施設の維持管理上の配慮にも努められています。          今後もより一層のサービス向上に努め、利用促進を図るとともに、さらなる効率化を目指して管理運営を行っていただきたい。</p>
---

名張市総合福祉センターふれあいの管理に関する業務の収支決算書(29年度)

(単位:円)

区分	項目	予算額	決算額	内訳等
収 入	市受託金収入	41,262,000	41,262,000	総合福祉センター指定管理料
	参加費収入	114,000	114,200	卓球台利用料
	利用料収入	4,226,000	4,240,905	ホール等利用料金 3,739,795 駐車場利用料金 253,450 コピー機利用料金 247,660
	賃貸料収入	1,088,000	1,091,803	他法人水道光熱費 1,048,133 共同募金マッサージ機配分金 1,360 他法人清掃負担金 42,310
	受取利息配当 金収入	3,000	1,432	預金利息
	雑収入	0	15,595	消防設備点検業務委託料 14,040 事務用備品等売却分 1,555
	収入合計(A)	46,693,000	46,725,935	
支 出	人件費支出	6,498,000	8,065,983	職員給料・賃金 5,560,464 法定福利費 1,307,529 職員賞与 977,990 退職給付積立 220,000
	事業費支出	36,796,000	35,525,620	水道光熱費 12,675,593 印刷製本費 29,592 燃料費 4,600 修繕費 1,813,104 消耗品費 571,222 通信運搬費 60,912 器具什器費 238,872 広報費 71,232 賃借料 362,853 業務委託費 19,649,380 車輛費 4,940 手数料 23,050 車輛燃料費 2,780 損害保険料 17,490
	事務費支出	2,183,000	2,144,223	福利厚生費 25,459 保険料 23,338 消耗品費 57,942 租税公課 1,862,847 通信運搬費 168,637 渉外費 6,000
	その他の支出	36,000	35,957	法人税、住民税及び事業税
	固定資産取得 支出	0	152,280	器具及び備品
	積立資産支出	5,500,000	5,500,000	修繕積立資産 3,000,000 備品等購入積立資産 2,500,000
	事業区分間繰 入金支出	246,000	246,000	法人運営事業への拠出分(労務・会計負担額)
	支出合計(B)	51,259,000	51,670,063	
	収支 (A)-(B)	△ 4,566,000	△ 4,944,128	

※予算額は最終補正予算額